

熊丸みつ子さん講演会（2月7日）

（名和中学校区小中連携研修会）

命の大切さを考えました

「君たちに伝えたいこと」

2月7日に名和小学校6年生の児童とその保護者を対象にご講演をしていただきました。

熊丸さんには、「思春期の身体や心の状態について理解し、自他の性を大切にできるようにしてほしい」という思いで、毎年講演をしていただいています。時折温かな笑い声が会場を包み、素晴らしい時間になりました。講演の中でも特に強いメッセージとして三つのことを伝えていただきました。

まず、『子どもたちはみな、幸せになるために生まれてきた』ということ。『3億もある精子の中の二つが今の君たちなんだ。3億の精子の中で一番優しくて、一番素敵なのが今の君たちだよ。だから君たちは幸せにならないといけない』と力強く子どもたちに話をされました。

次に、『身体



らしく生きていきたいと思えます。

「思春期を迎えた

あなたたちに伝えたいこと」

2月7日に、熊丸みつ子さんをお迎えして名和中学校2年生を対象に講演会を行いました。熊丸さんとは2年前、生徒は名和小6年生時の講演会で出会っており、「中学2年生になったらまた会いましょう」と話されていたので、今回の講演会をとっても楽しみにしていたようです。

熊丸さんは常に笑顔でそして真剣に、愛情をもつて様々な話をしてくださいました。生徒一人一人の目をしっかりと見つめ、みんなに「素敵！」と何度も言ってくさいました。



特に生徒がとてもほっとして共感したのは「今、イライラすることが多いのは、とても順調に成長しているから。でも、まだ14年しか生きていないのだからもっと周りの大人に頼って、いろいろなことを相談することが大切だよ。」と話されました。安心感に包まれた生徒の笑い声がとても印象的でした。そして、熊丸さんが何度も繰り返された言葉が三つありました。『みんなは幸せになる権利

がある』『お母さんはあなたたちを、命を懸けて産んだ』『みんなは精子3億分の1の選ばれた命なんだ』という言葉です。

講演後の振り返りでは、全員が自身を見つめ直し、感想を書いていました。各学級にメッセージカードもいただき、生徒の心に響く、素晴らしい講演会となりました。

★生徒の感想より

○熊丸さんのお話は6年生の時にも聞きましたが、内容は同じでも、自分の受け取り方が変わってきていることに気付きました。

○「今のあなたたち、十分ステキよ」という力強い言葉で勇気ももらい、一歩踏み出そうと思えました。

○女らしくではなく、男らしくではなく、「自分らしく」というフレーズが心に残りました。良い人やできた人を演じるのではなく、自分の個性を發揮して自分らしく生きたいです。

○楽しくて、感動しました。絶対に命を大切にしたいし、生まれてきたありがたみを感じました。

○自分のことは好きではなかったけれど、熊丸さんの話を聞いて好きになろうと思えました。熊丸さんにまた会いたいです。

- ★児童の感想より
- 自分の心や身体のことでの悩みがあることはすてきなことだということにとが心に残りました。
- まずは自分を大切にできる人になりたいと思いました。
- お母さんが命をかけて産んでくれた命を大切にしたいです。
- ほかの人と比べるのではなく、自分